

総合計画改定市民ワークショップ ～10年後の多摩市を考えよう～ 運営企画書（案）

1. ねらい（趣旨）

現状及び将来を見据えた抜本的な課題を見出し、具体的な解決の方向性を明らかにするためには、計画検討の初期段階から市民及び有識者など、多様な視点による課題及び解決策に対する意見を収集し、計画立案に反映するプログラムが必要になります。

そこで、総合計画審議会において検討された「重要テーマ（案）」に基づき、市民と市及び市民同士の自由な対話によって解決の方向性を見出す「総合計画改定市民ワークショップ ～10年後の多摩市を考えよう～」を開催します。

本ワークショップは、行政の計画案に対する審議やこれまでの取り組みに対する評価を行う場ではなく、総合計画審議会における検討との連動を意識しながら、多様な視点から計画改定における取り組みを対話によって導く場となることを目指しています。

2. 獲得目標

審議会において検討された「重要テーマ（案）」を市民の目線で議論し、取り組むべき優先度をつける。（※つけられた優先度及びワークショップにおける議論の結果は、8月下旬から9月上旬に開催予定の第4回審議会にフィードバックし、「重要テーマ（案）」の決定プロセスに反映させる。）

3. 運営方法

開催日：平成 30 年 8 月 4 日(土)、8 月 11 日(土)

参加者	<p>【参加者への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 18～79 歳の市民を無作為に 2,100 人抽出し参加希望調査票を発送 ・ 本年度 5 月に実施した高校生世代アンケートで参加意向を示した者や、多摩市若者会議のコアメンバー及び各種事業における連携企業等に対しても個別募集を実施 <p>【想定参加者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各回 50 名程度（2 回合計：100 名程度） <p>※本ワークショップは、審議会で議論された専門的な検討をベースに、市民の一般的な目線で計画改定における「重要テーマ（案）」を議論し、その重要度を判断していただくことを目的としている。</p> <p>このため、今回は専門家や関係企業・団体、市職員等を含めた検討は行わないが、これら関係者も含めた市民参画は、秋頃に実施予定の市民ワークショップにおいて、個別の政策・施策を検討する際に実施する。</p>
テーマ及びグループ	<p>【テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「重要テーマ（案）」は、総合計画審議会での検討を踏まえ、事前に複数のテーマを設定する。事務局としては 10～15 程度のテーマを想定している。 <p>【グループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各グループ 4～6 名を 10 グループ程度（参加者数に応じて調整） ・ 年齢構成、性別、住所地等が均等になるように事前に調整

<p>当日進行 (次第)</p>	<p>～開会 (10 時 00 分) ～ ※開場 (9 時 40 分)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会挨拶 (市民ワークショップの趣旨説明) (10 分) 2. 重要テーマ (案) 設定の背景・審議会での議論内容の説明 (25 分) 3. ワークショップ (計 60 分) <ol style="list-style-type: none"> ①自己紹介(10 分) ②ワークショップ前の事前投票 (5 分) <p>※休憩 (10 分)</p> <ol style="list-style-type: none"> ③各グループで意見交換×3 セット (15 分×3 セット=45 分) 4. 全体共有・グループ意見まとめの意見交換 (20 分) 5. 優先度投票タイム (5 分) 6. 閉会挨拶 (5 分) ※閉会 (12 時 15 分)
<p>運営方法</p>	<p>【ワークショップの全体運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップの全体進行については、第五次多摩市総合計画改定支援業務委託に基づき、パシフィックコンサルタンツ株式会社の社員が実施 ・重要テーマ (案) 設定の背景・審議会での議論内容の説明パートは、堅苦しくない雰囲気の中で議事を進行するため、審議会の委員さんからお話いただく。 ・各グループには、ファシリテーターとしてパシフィックコンサルタンツ株式会社の社員が 1 名参加し、「対話」により課題の具体化、方策・アイデアの検討を行うことができるように運営する。また、ワークショップはワールドカフェ方式とする。 <p>【ワークショップ～優先度投票 までの流れ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介 (アイスブレイク) 2. ワークショップ前の時点で、重要テーマ (案) の優先度投票 <p>※休憩</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. パシフィックコンサルタンツ株式会社の社員のファシリテーションのもと、各グループで意見交換 (計 3 セットをラウンドし、複数の方と意見交換を行う。) 4. 初めのグループに戻り、これまでの意見交換を踏まえ、グループとしての優先度を導き出す。その際、今後の議論の参考とするため、「実現するために必要なこと」、「市民として取り組むこと」について、グループとしての意見交換を行う。 5. グループとしての意見、個人の意見の両者について、その優先度を投票し、ワークショップ全体としての結果を導き出す。 <p>※優先度は厳密な順位付けを行うのではなく、「優先度上位・中位・下位」等のおおまかなグルーピングを行うことを目的とする。</p>

※審議会との連動イメージ

【7/4：第2回審議会】

- 市長公約の反映等について（報告）
- 各種データ等からみる現状と課題について
- 計画改定の見直しの方向性について（協議）

※審議を踏まえ、事務局が重要テーマ（案）を事務局が提示

【7/25：第3回審議会（予定）】

- 計画改定の見直しの方向性について（協議）

※審議会に出された重要テーマ（案）をワークショップで提示

【8/4、8/11 市民ワークショップ】

- 計画改定における重要テーマ（案）を議論し、市民目線での優先事項を整理する。

※ワークショップで整理された結果を審議会にフィードバック

【8月下旬～9月上旬：第4回審議会（予定）】

- 計画改定の見直しの方向性について（協議・決定）
- ※市民の投票という数的なエビデンスを踏まえて、最終的な審議を行っていただく。